

上田勝弘さん(大垣精工会長)悼む

3月死去お別れの会に700人

3月に87歳で亡くなった大垣精工(大垣市)会長の上田勝弘さんの「お別れの会」が19日、同市万石の大垣フォーラムホテルで開かれた。地元政財界や業界関係者、韓国の大学、企業関係者ら計約700人が参列し、別れを惜しんだ。

上田さんが「会社名に大垣」という地名を使う以上、国際的に有名になることはあっても絶対に汚してはな

らん」などと語った生前の映像を上映。実行委員長の松尾幸雄社長が「上田にとつて大垣精工は人生をかけた作品そのものだった。私たちは受け継ぐ者としてより立派な作品へとつくり上げる。上田が大切にしてきた企業理念『いつの時代も人が主役』を守り、さらなる事業発展に向け、力を尽くす」とあいさつした。

日本金型工業会会長の山



遺影に花を手向け、故上田勝弘さんをしのぶ参列者＝大垣市万石、大垣フォーラムホテル

中雅仁さん、セコム特別顧問で東京都公立大学法人理事長の中山泰男さんが弔辞を述べた。江崎禎英知事、鄭美愛駐名古屋韓国総領事、石田仁大垣市長ら参列者は、遺影を飾った祭壇に向かつて花を手向けた。

上田さんは1968年に精密金型製造の大垣精工を設立。84年に子会社で超精密プレス部品製造のセイコーハイテック(同市)を設立した。電子機器用の精密金型や超精密部品加工に特化し、世界市場に供給する

企業に発展させた。日本金型工業会会長を務めたほか韓国から長年研修生を受け入れ人材交流に貢献した。

(小森直人)